



GlobalResearch

Centre for Research on Globalization
globalresearch.ca / globalresearch.org





イタリア語 ドイツ語 ポルトガル語 srpski العربية
中文 ノートルサイト enFrançais :
mondialisation.ca

Nuestrositioenespañol : Globalizacion
GRTV YouTube Twitter Facebook RSS

米国のNATO戦争 経済 公民権 環境 貧困 メディア 正義感 9/11 戦争犯罪 軍事化 歴史 化学

ディストピアの「グレートリセット」：「何も持たずに幸せになる」、2030年に人間になる

コリン・Todhunter

グローバルリサーチ、2021年11月14日
グローバルリサーチ2020年11月9日

テーマ：インテリジェンス、警察国家、公民権



先見の明を持って、コリン・トドハンターによるこの鋭い記事は、2020年11月9日にグローバルリサーチによって公開されました

1月末にスイスのダボスで開催される世界経済フォーラム（WEF）の年次総会では、国際的なビジネスおよび政治のリーダー、エコノミスト、その他の著名人が集まり、地球規模の問題について話し合います。影響力のあるCEOであるクラウドシュワブのビジョンに後押しされたWEFは、ディストピアの「グレートリセット」の主な原動力であり、私たちの生活、仕事、相互作用の方法を変えることを目的とした構造変化です。

グレートリセットは、製薬会社、ハイテクビッグデータの巨人、アマゾン、グーグル、主要なグローバルチェーン、デジタル決済セクター、バイオテクノロジーの懸念など。

COVID-19の封鎖と制限を使用してこの変革を推し進め、「第4の産業革命」を装って大規模なリセットが展開されています。この革命では、古い企業が破産に追いやられるか、独占に吸収され、巨大なセクションが効果的にシャットダウンされます。プレCOVID経済の。経済は「再構築」されており、多くの仕事はAI駆動のマシンによって実行されます。

以下の短いビデオで、WEFは、2030年までに「あなたは何も所有せず、幸せになるだろう」と予測しています。ドローンが製品を家庭に配達している間、幸せな笑顔が描かれています。間違いなくオンラインで注文され、巨大なアマゾン倉庫でロボットによって包装されています。2030年でも、人口に対するフルスペクトラムドミナンスを維持するために、恐怖の物語を存続させ、十分に維持する必要があるため、ウイルスやバクテリアは発生しませんので、ご安心ください。

World Economic Forum: "You'll own nothing, and you'll be happy" (While Oli...



（そして多くがあるでしょう）普遍的なベーシックインカムはいくつかの種類に配置することができ失業や借金持ち（大規模に債務や破産はロックダウンと制限の意図的な結果である）にその資産を渡すためにリターンでオフに書かれました州、より正確には、この大きなリセットを推進するのを支援している金融機関。WEFは、国民は「持続可能な消費」と「地球の救済」を装って所有権を剥奪するなど、必要なものすべてを「貸貸」と述べています。もちろん、この素晴らしいリセットを展開した小さなエリートがすべてを所有します。

「要件に対する余剰」とみなされる世界中の何億人もの人々が彼らの生活を奪われる（現在奪われている）。私たちのすべての動きと購入は監視され、私たちの主な取引はオンラインになります。

個々の市民のための計画は、国民国家に適用される戦略を反映する可能性があります。例えば、世界銀行グループ総裁デイビット・マルパスは、と述べている貧しい国々が「助け」され実施されてきた様々なロックダウンした後、自分の足に戻って取得します。この「助け」は、新自由主義改革と公共サービスの弱体化が実施され、さらに埋め込まれることを条件とします。

4月20日、ウォールストリートジャーナルは、「開発途上国からの援助要請の世界銀行の顔の大洪水」という見出しを掲載しました。多くの国が、1.2兆ドルの融資を行う金融機関からの救済と融資を求めています。依存を助長するための理想的なレシピ。

債務救済または「支援」の見返りとして、ビル・ゲイツのような世界的なコングロマリットは、国民政策をさらに決定し、国民国家の主権の残党を空洞化することができます。

アイデンティティと意味

私たちの社会的および個人的アイデンティティはどうなりますか？それは、人間の行動と私たちが行うすべてのことを商品化して標準化するという探求で根絶されるのでしょうか？

このアジェンダを推進しているビリオネアクラスは、自然とすべての人間を所有でき、たとえば土壌微生物を遺伝子組み換えするか、合成された偽の食品を生産することで自然よりも優れた仕事をするなど、大気を地球工学的に制御できると考えています。ラボ。

彼らは、人間であることの意味を再形成することで、歴史を終わらせ、車輪の再発明を行うことができると考えています。そして彼らは2030年までにこれを達成できると考えています。それは何千年もの文化、伝統、慣習を事実上一夜で根絶したいという冷たいディストピアのビジョンです。

そして、それらの文化、伝統、慣習の多くは、食品とそれをどのように生産するか、そして自然との根深いつながりに関連しています。私たちの先祖の古代の儀式やお祝いの多くは、死から再生、出産まで、存在の最も基本的な問題のいくつかを理解するのに役立つ物語や神話に基づいて構築されたと考えてください。これらの文化的に埋め込まれた信念と実践は、自然との実際的な関係と人間の生命を維持する上でのその役割を神聖化するのに役立ちました。

農業が人間の生存の鍵となるにつれ、作物の植え付けと収穫、および食料生産に関連するその他の季節的な活動がこれらの習慣の中心になりました。たとえば、Freyfaxiは北欧の異教における収穫の始まりを示し、LammasまたはLughnasadhは異教における最初の収穫/穀物の収穫を祝うものです。

人間は自然とそれが生み出した生命を祝いました。古代の信念と儀式には希望と更新が染み込んでおり、人々は太陽、種子、動物、風、火、土、雨、そして栄養を与えて生命をもたらした季節の移り変わりと必要かつ即時の関係を持っていました。農耕生産および関連する神々との私たちの文化的および社会的関係は、健全な実践の基盤を持っていました。

ロバート・W・ニコルズ教授は、ウォーデンとトールのカルトは、太陽と地球、作物と動物、そして夏の光と暖かさの間の季節の回転と、冬の寒くて暗い。

文化、農業、生態学の間的重要な関係、特にモンスーンと季節の植え付けと収穫の極めて重要なことを理解するために、私たちはインド以上に目を向ける必要はありません。都会のインディアンの間でさえ、自然に染み込んだ地方ベースの信念と儀式は存続します。これらは、生計、季節、食べ物、料理、加工、種子交換、医療、知識の伝達がすべて相互に関連し、インド自体の文化的多様性の本質を形成する伝統的な知識システムに結びついています。

人々が都市に移動するにつれて、産業時代は食品と自然環境との関係の減少をもたらしましたが、伝統的な「食文化」-食品の生産、流通、消費を取り巻く慣行、態度、信念は依然として繁栄し、私たちが強調しています農業と自然との継続的なつながり。

「神の手」帝国主義

1950年代に戻ると、人類が直面している問題のいくつかを「解決」するために空から出てくる「神の手」として会社を描いた一連の画像に基づくユニオンカーバイドの企業の物語に注目するのは興味深いことです。最も有名な画像の1つは、伝統的な農業慣行がどういふわけか「後方」であるかのように、インドの土壌に会社の農業を注ぐ手です。

グレン・ストーン教授が書いた論文「緑の革命の新歴史」によれば、反対の主張が広く公表されているにもかかわらず、この化学物質主導のアプローチは食料生産の増加にはつながらなかった。しかし、それは長期的に壊滅的な生態学的、社会的、経済的影響を及ぼしました（ヴァンダナ・シヴァの著書「緑の革命の暴力」とパスカー・セーブの現在有名で非常に洞察に満ちたインド当局への公開書簡を参照）。

「食品と文化の研究」（ボブ・アシュリー他）の本では、数年前、コカ・コーラのテレビ広告キャンペーンが、現代性を甘い飲み物と関連付け、古代のアボリジニの信念を有害であると描写した製品を視聴者に販売した方法を示しています。無知で時代遅れ。雨ではなくコークスが乾いたものに命を与えるようになりました。この種のイデオロギーは、伝統文化の信用を失墜させ、それらを不十分で「神のような」企業からの支援を必要としていると描写するためのより広範な戦略の一部を形成します。

2020年に私たちが目にしているのは、そのようなプロセスの加速です。食品と農業の観点から、インドのような場所での伝統的な農業は、ビッグテックの巨人やアグリビジネスから、実験室で育てられた食品、GMO、遺伝子操作された土壌微生物、データ収集ツールやドローンなどに開放するという圧力が高まっています。破壊的な「技術」。

大きなリセットには、無人機が人員を配置し、ドローンが監視し、化学物質を注入して、特許取得済みのGM種子から商品作物を生産し、加工して食品に似たものに構成する農民のいない農場が含まれます。農民はどうなりますか？

COVID後、世界銀行は、構造改革の見返りとして各国が軌道に戻るのを支援することについて話し合っています。個人の債務救済とベーシックインカムの見返りに、何千万人もの小規模農家が自分たちの土地から誘惑されるのでしょうか。これらの農民の追放とそれに続く農村コミュニティとその文化の破壊は、ゲイツ財団がかつて呼びかけ、皮肉なことに「土地の移動」と呼ばれたものでした。

傲慢さを切り抜けると、ビル・ゲイツ（そして偉大なリセットの背後にある他の信じられないほど裕福な個人）が、これが農民の知識の採掘、流用、商品化を含むかどうかにかかわらず、帝国主義の昔ながらの処分戦略をサポートする昔ながらの植民地主義者であることは明らかです、研究とシードの企業への移転を加速するか、知的財産権の海賊行為と知的財産法とシード規制によって作成されたシードの独占を促進します。

インドのような場所で-まだ農業ベースの社会-これらのすでに（COVID以前の）多額の借金を抱えている農民の土地は、ハイテクでデータ駆動型のGM産業を解き放つために、ハイテク巨人、金融機関、グローバルアグリビジネスに引き渡されますスラッシュ？この部分は、WEFによって推進されている「自分のものは何もない、幸せになる」という当たり障りのない勇敢な新しい世界の一部ですか？

食糧生産、自然、そして人生に意味と表現を与える文化的に埋め込まれた信念の間のつながりが完全に切断されたため、私たちは、州からの収入に依存し、剥奪された、実験室ベースの食糧に存在する個々の人間に任せられます満足のいく生産的な努力と本物の自己充足の。

技術的干渉は、何世紀にもわたる伝統的知識を利用し、食糧安全保障を確保するための有効なアプローチとしてますます認識されている文化的多様性、意味のある社会的つながり、農業生態系をすでに破壊または弱体化させています（たとえば、「インドの食糧安全保障と伝統的知識」を参照）。南アジア研究ジャーナル）。現在想定されている大規模なテクノクラートの変革は、人間を、生命のない技術的なドローンやAIが推進されているのと同じように、制御および監視される商品と見なしています。



しかし、心配しないでください。大量失業、州への依存、トラックとチップの健康パスポート、キャッシュレス、大量予防接種、人間性の抹殺の開かれた刑務所で、財産がなく幸せになります。

*

読者への注意：上または下の共有ボタンをクリックしてください。この記事を実行リストに転送してください。あなたのブログサイト、インターネットフォーラムへのクロスポスト。NS。

注目の画像はCountercurrents.orgからのものです

この記事の元のソースはGlobalResearchです。

Copyright© ColinTodhunter, Global Research, 2021

Facebookページのグローバルリサーチ記事へのコメント

グローバルリサーチのメンバーになる

私たちのアーカイブからの関連記事

今、ダボス世界経済の「グレートリセット」がやってくる。Covid-19パンデミックの後に何が起こりますか？
2020年7月24日

パンデミック、「グレートリセット」およびレジスタンス
2020年11月30日

腐敗した科学とエリートパワー：Covid-19「テクノ奴隷制」と「グレートリセット」が差し迫っています
2021年11月14日



記事：

コリン・トドハンター

著者について：

コリン・トドハンターは、広く出版された独立した作家であり、元社会政策研究者です。彼は英国出身で、長年インドで過ごしてきました。彼のウェブサイトはwww.colintodhunter.comhttps://twitter.com/colin_todhunterです。

免責事項：この記事の内容は、著者の単独の責任です。グローバルリサーチセンターは、この記事の正確または不正確な記述について責任を負いません。グローバルリサーチセンターは、元のグローバルリサーチ記事へのハイパーリンクとともにソースと著作権が認められている限り、コミュニティインターネットサイトにグローバルリサーチ記事をクロスポストする許可を与えません。グローバル・リサーチの印刷における記事や商用インターネットサイト、連絡先など、他の形態の出版のために：publications@globalresearch.ca

www.globalresearch.caには著作権で保護された素材が含まれていますが、その使用は必ずしも著作権所有者によって特別に許可されているわけではありません。私たちは、政治的、経済的、社会的問題のより良い理解を促進するために、「フェアユース」の規定の下でそのような資料を読者が利用できるようにしています。このサイトの資料は、研究および教育目的でそれを受け取ることに以前に関心を示した人々に利益なしで配布されます。著作権で保護された素材を「フェアユース」以外の目的で使用する場合は、著作権所有者に許可を求める必要があります。

メディアに関するお問い合わせ：publications@globalresearch.ca

グローバルリサーチニュース
E-BOOKSシリーズ
国インデックス
最も人気のあるリンク
コンタクト
メンバーシップ
オンラインストア

テーマ

米国NATO戦争議題
世界経済
人道に対する罪
軍事化と大量破壊兵器
法務省
警察国家と公民権
歴史
9/11 & 「対テロ戦争」
メディアの偽情報

地理的地域

軍事化と大量破壊兵器
石油とエネルギー
警察国家と公民権
宗教
貧困と社会的不平等
科学と医学
国連
米国NATO戦争議題
女性の権利



プライバシーポリシー

著作権©2005-2021 GlobalResearch.ca